



昭和大学歯学部だより

2022年 1月号

通算第214号

巻頭言

<歯学部長 榎 宏太郎>



明けましておめでとうございます。

新しい年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。この原稿を書いている時点では、オミクロン株が世界各地で確認され、渡航規制がしかれようとしております。1ヶ月後の状況を予想することはできませんが、非常に感染力が強いという点が気がかりです。

あの2020年1月からすでに2年を経過しようとしております。歯学部も、コロナによって悩みながらも様々なことを試みて参りました。WEB授業や登校制限下での実習、日々の健康管理から外来における感染制御等々、全教職員と全学生の皆さんの努力は実に素晴らしいものであり、かつ無駄なものは何ひとつ無かったと思います。そして、歯科病院の診療体制の改革や新しい入試制度の導入も着々と進められております。

本年も、決してコロナに滅入ることなく、『逆境を越えることを楽しみ』と考えて、新たな未来を拓こうではありませんか。

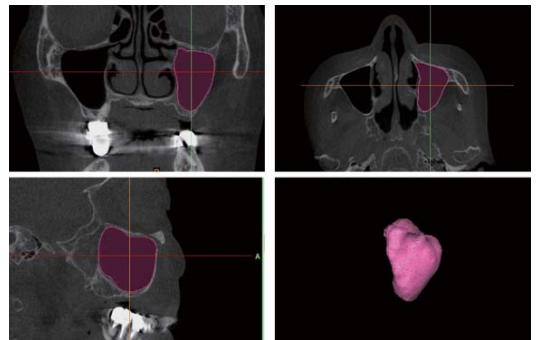
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

～研究紹介～ (インプラント歯科) <インプラント歯科学講座 宗像 源博>

インプラント治療は歯を喪失した部位に人工歯根を埋入し、咀嚼機能の改善および残存歯の保全をおこなう欠損補綴治療の1つであります。研究分野は多岐にわたり、チタンや移植材料等の材料学～上顎洞や下顎管、シミュレーションも含めた画像診断学～



GBR前後の顎堤の変化



上顎洞体積の計測

GBRやサイナスリフト、即時荷重等の外科学～デジタルやインプラントオーバーデンチャーも含めた補綴学～インプラント周囲炎に対する治療法等の歯周病学とインプラントの研究分野

は基礎と臨床の融合した分野でもあります。当研究室では現在、宗像源博准教授以下8名の常勤スタッフと2名の大学院生と共に特定臨床研究を含む臨床研究と基礎研究を歯科理工学分野や歯科放射線学講座の先生と共に精力的におこなっております。

- P.1 【巻頭言】歯学部長 榎 宏太郎教授
【研究紹介】インプラント歯科学講座 宗像 源博准教授
- P.2 【学士会総会】歯科理工学部門 柴田 陽教授
【一斉技能試験認定評価者養成WS】総合診療歯科学部門 伊佐津 克彦准教授
【講演】インプラント歯科学講座 宗像 源博准教授
- P.3 【受賞】歯科薬理学講座・薬理科学研究センター 高見 正道教授
【受賞】障害者歯科学部門 佐藤 ゆり絵先生
- P.4 【受賞】歯学部5年 四宮 寛大君
【実習風景】教育推進室 片岡 竜太教授

昭和大学学士会総会が開催されました

<歯科理工学部門 柴田 陽>

新型コロナ感染者数も落ち着きを見せてきている中、去る12月4日(土)に昭和大学学士会総会が対面形式で開催されました。開催形式は感染対策に留意したものとなったため、特に大学院生の研究成果発表形式はこれまでと大きく異なります。演者同士の“密”を避けるためポスター発表を行わず、研究テーマ毎に4号館の各教室に分散し、口頭発表形式で行われました。テーマが近いことから大学院生同士でも活発な議論が行われており、今回の大きな成果であったと考えます。また一般演題に続いて行われた教育講演では、歯学部からは美島健二教授に唾液腺再生医療の貴重な最新知見をご講演いただきました。4号館500号室での対面形式とライブ中継とのハイブリッド開催となり、従来を大きく上回る参加総数であったことは強調しておきます。皆で知恵を絞った特殊な開催形式ではありませんでしたが、今後の学会運営におけるモデルケースになったのではないかと思います。



一斉技能試験(C S X)認定評価者養成WSが開催されました

<総合診療歯科学部門 伊佐津 克彦>

2020年度、共用試験に歯学系では診療参加型臨床実習後臨床能力試験(Post-CC PX)が新規導入され、臨床実習中に臨床実地試験(CPX)、臨床実習終了後に一斉技能試験(CSX)が実施されることになりました。正式実施後には、CPXとCSXの両者をパッケージとして考え、両方に合格することが臨床実習終了要件として求められています。その試験の客観性・公正性を確保するために、2023年度にはすべての評価者を機構認定評価者にすることを目標として、機構委員をWS開催支援者として派遣してもらい、11月6日(土)に歯科病院で、大学開催認定評価者養成WSが開催されました。



参加者は13名で、CSXで実際に使用する模型をWSで評価するため対面で行いました。参加された先生は、統合共通模型の評価基準を話し合い、認定評価者の重要性を学ばれたと思います。参加された先生たちが評価をすることで、昭和大学は2021年度CSXで、すべての評価者を機構認定評価者で行えると信じています。

BioJapan 2021で講演しました

<インプラント歯科学講座 宗像 源博>

BioJapan 2021に昭和大学を代表して私と薬学部の肥田典子先生が講演いたしました。「BioJapan」は世界で最も歴史のあるバイオテクノロジー展であり、今回は、再生医療分野の研究開発の加速・産業化を目指す「再生医療JAPAN」、そしてデジタルテクノロジー×ライフサイエンス融合にフォーカスをあてる「healthTECH JAPAN」の3展同時開催となり、10月13～15日にパシフィコ横浜にて盛大に開催されました。産・学・官のビジネスマッチング・パートナーリングを目的に、国内に留まらず海外の企業もたくさん参加しており、昭和大学も展示ブースを設置しました。私は「超高齢社会における歯科画像データ識別ソフトの必要性とその応用による被災者身元確認システムの構築」というタイトルで高齢者における食の重要性と在宅医療の問題点、さらには東日本大震災に代表される被災者身元確認に関する歯科鑑別の問題点を提示し、AI等を用いた歯科画像識別ソフトの開発によって遠隔診断や身元鑑別診断が可能になることと産学連携の必要性について講演させていただきました。



日本骨代謝学会学術賞を受賞しました

＜歯科薬理学講座・薬理科学研究センター 高見 正道＞

第39回日本骨代謝学会学術集会(2021年10月9日)において、顕著な研究功績を挙げた研究者に贈られる学術賞(基礎系)を受賞しました。1967年設立の同学会(会員数1,815名)には、医学、歯学、基礎生物学など、多分野の研究者が参加し、世界の骨・ミネラル代謝研究を牽引しています。

私は32歳のとき昭和大学に助手として採用されて以来、人生をかけて破骨細胞の研究に取り組んできました。「OSCAR」という私が発見・命名した遺伝子は、破骨細胞マーカーとして3,000報以上の論文に掲載されています(PubMed調べ)。また、破骨細胞の運命決定を担う遺伝子を発表した時は、国内外の研究者から大きな反響をいただきました。

これらの成果は、昭和大学の研究環境と皆様の支えのおかげでございます。この場をお借りして心から感謝申し上げますとともに、歯学研究科長として研究者育成と研究活性化に尽力して参りたいと思います。



日本障害者歯科学会で優秀発表賞を受賞しました

＜障害者歯科学部門 佐藤 ゆり絵＞

この度、第38回日本障害者歯科学会学術大会において優秀発表賞を受賞いたしました。私は大学院でスペシャルニーズ口腔医学講座障害者歯科学部門に所属しております。障害児にとって食事のコントロールは難しく、食事の成分が骨量に影響することは重要な問題になると考えます。「脂質とコレステロール摂取バランスがマウスの骨代謝恒常性維持に与える影響」として歯科薬理学講座の坂井信裕准教授のご指導のもと、食事の脂質とコレステロールの配合量が骨量に与える影響を研究しました。マウスの餌の成分中で、脂質とコレステロールのどちらか一方が多く含まれていてもマウスの骨量は変化しませんでした。脂質とコレステロールがともに多く含まれている場合には、骨量が減少することを解明いたしました。このような機会に恵まれ、大変光栄に存じます。臨床と研究を共に支えてくださった障害者歯科の先生方と歯科薬理学講座の先生方に厚く御礼申し上げます。



Award(受賞)

- ・第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議 優秀ポスター賞
宮澤 平(歯科矯正学講座 大学院)
- ・第57回日本口腔組織培養学会学術大会 ベストプレゼンテーション賞
池崎 かおり(口腔生化学講座 大学院)

行事予定

【2月】

- ・2月 5日(土):一般選抜入試(I期)
大学入試共通テスト利用入試
- ・2月12日(土), 13日(日):
医学部一般選抜入試(I期)利用歯学部併願入試
- ・2月26日(土):大学院春季Ⅱ期入試

【3月】

- ・3月 6日(日):一般選抜入試(Ⅱ期)
- ・3月16日(水):卒業式・学位伝達式
- ・3月18日(金):大学院春季修了式
- ・3月30日(水):D4オリエンテーション
- ・3月31日(木):D2オリエンテーション

JADRで Joseph Lister Award を受賞しました

＜歯学部5年 四宮 寛大＞

この度、私は第69回JADR学術大会にて「骨再生医療に応用するための神経堤由来細胞の同定」について研究発表をさせていただき、幸運にも Joseph Lister Award を受賞することができました。

今回の研究では、骨再生のための細胞ソースとして神経堤由来細胞に着眼し、細胞1つ1つの遺伝子発現様式を検出できるシングルセルRNAシーケンス解析を行うことで、神経堤由来細胞の中から組織幹細胞と考えられる細胞集団を見出しました。

また今回の発表は、質疑応答を含めて全て英語で行いました。英語での発表は非常に緊張感がありましたが、この経験を糧にして今後も精進してまいります。

今回このような名誉ある賞を賜わりまして、ご助力くださいました口腔生化学講座の上條竜太郎先生、国際交流センターの橋本みゆき先生をはじめ、多くの先生に心より感謝を申し上げます。



認定医・専門医取得

・日本歯周病学会認定 歯周病専門医
山田 純輝(歯周病学講座 助教)

・日本障害者歯科学会認定医
下村 直史(小児成育歯科学講座 助教)
高橋 万莉(小児成育歯科学講座 助教(歯科))
新田 雅一(小児成育歯科学講座 助教(歯科))
酒井 真奈(小児成育歯科学講座 助教(歯科))

～実習風景～ D4 医療面接実習

＜教育推進室 片岡 竜太＞

「歯科医療コミュニケーション教育」とは「歯科医療におけるコミュニケーションについて考え、歯科医師に必要な態度とコミュニケーション技法を身につける」ことを学修成果としています。2011年より開始し、MIC(マイインフォームドコンセント)代表の佐伯晴子様をはじめとする模擬患者さんのご協力を得て、コミュニケーションについて学生は学んでいます。

D2「歯科医療コミュニケーション入門」、D3「医療面接の基礎」、D4「基礎疾患を有する模擬患者との医療面接実習」と、内容を徐々に臨床に近づけて段階的に実施しています。特にD4の医療面接実習は、「ヒトの病気」で学んだ医科疾患の知識を歯科診療にどのように活かすかを考える授業でもあります。

新型コロナウイルス感染症の影響によりPBL室の使用が禁止されていた昨年に引き続き、今年度もMeetを活用してオンラインで医療面接実習を実施しました。

本教育を導入して10年が経過しました。対面とオンライン実習の経験を活かし、それぞれの利点を取り入れながら、知恵を絞って「歯科医療コミュニケーション教育」のさらなる充実を図っていただければと思います。



昭和大学 歯学部だより 通算214号 2022年1月発行

発行責任者：歯学部長 榎 宏太郎 編集責任者：広報委員会委員長 野中 直子

1月号編集委員：中山 希世美(広報委員会)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000

ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp